総務課危機管理係からのお知らせ

椥原町木造住宅等耐震化事業

【令和9年度要望調査のお知らせ】

旧耐震基準となる昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅は大地震による倒壊の危険性が高いことから、耐震改修等の対策実施に要する経費の一部について予算の範囲内で補助金を交付します。

☑ 補助対象

≪耐震診断≫自己負担：3千円

❖木造住宅耐震診断士による耐震診断を行い、住宅の弱い箇所や耐震性を把握し説明を実施。

≪耐震設計≫補助額上限：27万円（事業費の9割補助）

❖耐震診断の結果、耐震性が低かった場合、設計士が設計書を作成し、耐震工事の方法や工事費用の説明を実施。

≪耐震改修≫補助額上限：165万円（事業費の9割補助）

❖耐震改修が必要な木造住宅について、工事費の一部を補助。

※R9年度まで補助上限165万円で、R10年度以降は補助上限額が低くなる可能性があります。

≪ブロック塀≫補助額上限：40万円または延長×8万円のいずれか少ない金額（事業費の9割補助）

❖危険性が高い既存コンクリートブロック塀等の撤去や、安全なフェンス等へ改修する費用の一部を補助。

実施について検討されている方は、下記問い合わせ先までお知らせください。

報告〆切
令和8年11月30日（月）

お問い合わせ先
椥原町役場 総務課　危機管理係
電話：0889-65-1111

各部落代表者の方は、要望書に希望者を取りまとめのうえ、12月4日（金）までに、役場環境整備課生活環境係までご提出をお願いします。

◆合併処理浄化槽を設置（更新）しませんか？

椥原町では、合併処理浄化槽を個人や集会所へ設置をする場合、補助を行っております。浄化槽の設置をお考えの方、また、設置から20年以上が経過した浄化槽の更新を検討の方、集会所に浄化槽設置を検討の地区が対象

主たる生計の場として居住する住宅に合併処理浄化槽を設置しようとする方

- ✿ 令和９年度に設置し、使い始めることが確実な方が対象です。
- ✿ 公共下水道、農業集落排水区域内は補助対象外です。
- ✿ 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への変更も対象となります。

◆生ごみ減量化はじめませんか？

家庭ごみ家庭ごみの「生ごみ」のたい肥化は、ごみの減量化・使うと資源になります。生ごみをたい肥化して、身近なところから環境問題に取り組み循環型社会をめざしましょう！

容器の種類、補助額等（予定）

容器の種類	補助額（案）
電動式生ごみ処理機	購入金額（税込）の1/2で限度額（1世帯につき1基）30,000円
その他生ごみ処理器 ・コンポスト ・密閉式容器など	購入金額（税込）の1/2で限度額　4,000円

コンポスト

電動式

◆飲料水供給施設整備

飲料水供給施設の老朽化や濁り水不足による取水池の変更など、生活用水確保に支障が生じている場合、整備してから10年以上経過していれば補助の対象となります。
対象地区：簡易水道区域外

◆飼えない猫を増やさないために。

※猫は年2～4回の出産で、1回に4～5匹の子猫を産みます。飼えない子猫が産まれないように不妊・去勢手術をうけましょう。補助額：上限6，000円

詳しくは　環境整備課 生活環境係　まで！　☎：65-1251（担当：高橋・吉岡・西村）

要望調査

令和９年度
有害鳥獣被害防止対策用の防護柵の設置について

農地に設置する**防護柵代（資材費）**に対する支援を行っています。
今作で獣害を受けられた方、来期は大事な収穫を守りませんか？

■補助対象者：町内に農地を所有する町民

■補助対象経費：柵・杭・針金代

■補　　助　　率：７５％（補助上限あり）

※柵等の設置に必要となった人件費は補助対象外です。
※過去に補助金を活用して柵を設置したことがある農地には活用できませんのでご注意ください。
※柵の設置前に交付申請又は指令前着手申請が必要です。
（申請前に設置した柵は補助対象外です。）
※令和９年度内に事業を完了する必要があります。

❖本要望調査は、令和９年度の予算編成の参考とするためのものであり、補助金の交付を確約するものではありませんので、ご了承ください。

本補助金の活用を希望される方、内容を詳しく知りたい方は
下記担当者までご連絡ください。

要望〆切：令和８年１１月２０日（金）１７時

【お問合せ先】
椅原町役場　まちづくり産業推進課
農業商工係（那須・森山）
☎６５－１２５０

まちづくり産業推進課からのお知らせ

椅原町若者定住住宅整備事業

【令和9年度要望調査のお知らせ】

若者が安心して定住できるための持ち家の確保と住環境の整備を図ることを目的として、住宅を新築或いは改修又は増築した方を対象に予算の範囲内で補助金を交付します。

補助対象要件

≪補助対象者≫

①40歳未満の方
②前年中の所得の合計金額が600万円以下の方
③建築後、引き続き10年以上定住する方

≪補助概要≫

（新築）
40歳未満（申請時）の町民の方が自ら居住するため、町産材利用促進事業の規定に準じた木造住宅を新築した場合、100万円の補助金を町産材利用促進事業補助金と合わせて受け取ることができます。

（改修又は増築）
40歳未満（申請時）の町民の方が居住する住宅を20万円以上の事業費で持ち家を改修又は増築した場合に100万円を上限として事業費の1/2の補助金を交付します。
※年度内完了が原則です。また、着手前に申請手続きが必要です。

実施について検討されている方は令和8年11月27日(金)までにお知らせください。
補助要件等、詳細につきましては右記までお問い合わせください。

お問い合わせ先
椅原町役場 まちづくり産業推進課
地域振興係
電話:0889-65-1250

椿原町町産材利用促進事業

～住宅の建築をご検討の皆さまへ～

【令和9年度要望調査のお知らせ】

町産材の利用拡大を促進し、もって林業の持続的な発展並びに移住定住の促進を図ることを目的とし、町産材を積極的に利用して住宅を建築した方を対象に予算の範囲内で補助金を交付します。

☑ 補助対象要件

≪補助対象者≫

①建築後、引き続き10年以上定住する方

②建築用地を自ら確保できる方

③町税等の未納がない方（世帯全員が対象）

≪補助概要≫

①建築延べ面積20坪以上で椿原町産材を16㎥以上使用する住宅

②使用する椿原町産材の平均単価が1㎥当り8万円を上限の額とする

③合併浄化槽を設置するか、公共下水道、農業集落排水に接続すること

※住宅一棟分に相当する木材代金を町が補助します。（上限200万円）

※年度内完了が原則です。また、着手前に申請手続きが必要です。

※R7.4.1より住宅によっては建築確認申請が必要となっておりますのでご注意ください。

実施について検討されている方は令和8年11月30日（月）までにお知らせください。

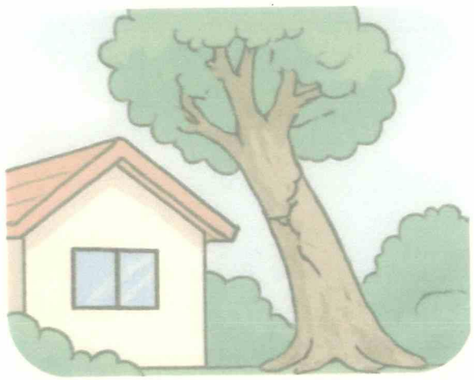
補助要件等、詳細につきましては下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先
椿原町役場 森林づくり脱炭素推進課
森林の文化創造推進係
電話：0889-65-0811

森林の文化創造推進係からのお知らせ

椿原町危険木等除去費補助事業

【令和9年度要望調査のお知らせ】



住宅周辺のがけくずれ被害等の予防並びに地域の生活環境の保全または景観の保全を講じ、町民の生命・財産を保護・保全するため、危険木または支障木の伐採・除去を行う者に対し、実施に要する経費の一部について予算の範囲内で補助金を交付します。

☑ 補助対象

≪住宅周辺のがけくずれ被害等の予防≫※要した費用の75%、30万円以内

❖立木の所有者である住宅入居者または立木の所有者の承諾を得た住宅入居者が行うもの。

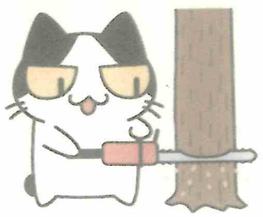
≪地域の生活環境の保全・景観の保全≫※要した費用の75%、75万円以内

❖地域の公共施設等を対象に区長または部落代表が行うもの。

実施について検討されている方は令和8年11月30日（月）までにお知らせください。

要望箇所につきましては職員が現地確認のうえ補助対象可否について判断いたします。

補助要件等、詳細につきましては下記までお問い合わせください。



お問い合わせ先
椿原町役場 森林づくり脱炭素推進課
森林の文化創造推進係
電話：0889-65-0811

椅原町内の皆様へ

『令和９年度 椅原町新エネルギー等活用施設設置補助金』のご案内

椅原町では再生可能エネルギーの普及や脱炭素社会の実現に向けた取組みの一環として、下記の機器をご家庭に設置する場合、その費用の一部を補助しております。
設置を検討されている方は、令和8年11月30日（月）までにお知らせください。

＜補助対象設備・補助金額一覧＞

○住宅用太陽光発電システム
出力1kwあたりの金額の1/2 （4kwまでで上限80万円）

○家庭用蓄電システム（太陽光発電システムへの接続が条件）
本体価格+付属機器の1/4（上限80万円）

○ペレットストーブ
本体価格の4/5（上限33万6千円）

燃料のペレットは
「ゆすはらペレット(株)」
にて購入できます
（税込495円/10kg入）

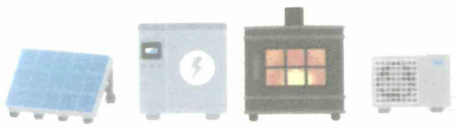
○自然冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）
本体価格+対象部品（リモコン、脚部カバー）の1/4（上限25万円）

○複層ガラス
本体価格（サッシ代は含まない）の1/4（上限4万円）

他4種類

※補助要件を満たすものであれば、どのメーカーのものでも設置できます。
※設置前申請となります。補助対象機器設置後の申請は受付出来ません。
※過去に補助金の交付を受けたことがある方は、再度同一機器の補助金の 交付を受ける事は出来ません。
※機器の設置は、設置予定者の方が自ら居住する町内の住宅に限ります。
※要望調査時に要望のなかったものについては、来年度に補助金の活用はできませんのでご注意ください。（追加要望は受付できません。）

補助要件・申請方法等につきましては、椅原町ホームページまたは下記までお問い合わせください。



お問合せ先

椅原町役場 森林づくり脱炭素推進課
再生可能エネルギー推進係
TEL 0889-65-0811

ReMORI MONTHLY

2026年9-10月号
Vol.32
IN ゆすはら

林業情報を発信！
りもりマンスリー

01 Contents

P.2　東京で森林を語ろうツアー
　　～都市のパートナー企業と巡る、椿原の森の未来～

P.4　１年目の経験を昇華し自立に向けて

02 Instagram

ゆすはら地域おこし協力隊
協力隊の活動、時々プライベートを発信中！
移住者視点の椿原の魅力をお届けします！

下村健太　　原田翼考

WOODNEIGHBORS -ウッドネイバース-
協力隊を卒業した角金玄が個人事業主として開業。ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。

株式会社 KIRecub -きりかぶ-
協力隊を卒業した下村智也を代表取締役として、令和６年８月より造林・育林事業を基軸にした会社として設立。メンバーの大半は協力隊出身、椿原で林業を学び、前職も全く畑違い。林業の魅力を知ってもらう為に事業を運営しています。

yoshii.koosai
協力隊を卒業した吉井香在が林地残材で木工作品を制作。放置されている材に新たな命を吹き込み、作品を通じて自然の美しさを表現します。

過去のリモリマンスリーの記事はこちらから

編集・発行：椿原令和の森林づくり協議会 ReMORI-りもり-　　笹岡・下村
お問い合わせ：森林づくり脱炭素推進課　　TEL：0889-65-0811
お気づきの点、ご意見・ご要望がございましたら上記までご連絡ください。

東京で森林を語ろうツアー～都市のパートナー企業と巡る、椿原の森の未来～

都市と森を繋ぐ３日間～先進企業と歴史ある緑地を巡る旅

８月19日～21日、椿原高校生３名（1～3年生各１名）とともに、２泊３日の「東京で森林を語ろうツアー」を実施いたしました。引率には役場環境整備課の立道課長と、地域おこし協力隊の私（下村）が同行。進路選択や将来のキャリアを目前に控えた高校生たちに、日頃から椿原町を応援し、環境事業にも力を注ぐパートナー企業との対話や歴史的建築物の見学を通して、椿原の森林の可能性と自身の将来を広げてもらうことを目的に企画したプログラムです。

訪問先では、森林や環境問題を多角的な視点から捉える豪華なカリキュラムが実現しました。

矢崎総業株式会社：放置人工林が抱える課題や、地域と企業が手を取り合う重要性を学びました。

一般社団法人 more trees：日本および世界の森林の現状やカーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ（自然再興）の最前線を拝聴。企業と森をつなぐ「企業の森」など、椿原町との実際の連携事例にも触れました。

長瀬産業株式会社：商社という立場から環境保全やSDGs課題にどうアプローチするかを通じ、社会で働くことの意義や責任について深く考える機会となりました。

株式会社 addlight：高知出身の起業家である代表の方から、これから社会へ羽ばたく若者へ向けた心構えや挑戦する姿勢について熱いメッセージをいただきました。

さらに企業訪問だけでなく、見学先として国立競技場と明治神宮を訪問しました。全国から集められた木材が組み上げられた国立競技場では、椿原町にゆかりの深い建築家・隈研吾氏の意匠に触れ、自分たちの住む町の木文化が日本の象徴的な建築に繋がっていることを実感。明治神宮では、100年の時を経て広大な「鎮守の森」へと育った人工林の経緯を辿りながら、時を超えて価値を生み出す森林の力と、椿原の豊かな森林が持つポテンシャルを改めて再発見する時間となりました。

今回の **REPORTER**-リポーター-

ゆすはら地域おこし協力隊
下村 健太 -Shimomura Kenta-

高知市出身。スポーツ指導員や小学校教員の経験あり。社会教育に携わってみたいという思いから昨年６月に椿原へ移住してきました。

「自分ごと」への変化と、卒業後も途切れない森との繋がり

ツアーの初日、訪問先での慣れない「名刺交換」に緊張していた生徒たちの初々しい姿が非常に印象的でした。しかし、最前線で活躍する社会人の方々と直接対話し、生の声に触れる中で、生徒たちの目つきは刻一刻と変わっていきました。これまでどこか遠い世界のニュースのように捉えていた「森林の課題」や「環境問題」を、自分たちが住む椿原の日常と重ね合わせ、「自分ごと」として深く思考し始めたのです。

このツアーを通して生徒たちに一番伝えたかったこと。それは、単なる環境教育に留まらない「キャリアの視野」です。高校卒業後、進学や就職をきっかけに多くの子どもたちが一度は町外へ旅立っていきます。だからこそ、都市部に出て働くことになっても「椿原の森との繋がりは決して切れない」ということ、そして「社会に出てから森林とどう関わるかは、自分自身の関わり方次第でいくらでも創り出せる」という気づきを持ち帰ってほしいと願っていました。

私自身、高校時代を振り返ると、将来についてここまで深く考えたり、多様な大人と対話して生の声を聞く機会はありませんでした。また、地方で育つことに焦燥感を覚えることもありました。しかし、今回参加してくれた３名は全員が大阪出身でありながら、この３日間行動を共にする中で、椿原という町を愛し、誇りに思っている気持ちが強く伝わってきました。

ツアースケジュール	
１日目	矢崎総業　訪問
	会食
２日目	more Trees　訪問
	長瀬産業　訪問
	addlight　訪問
３日目	国立競技場見学
	明治神宮見学

椿原高校生が企画・開発したカレーのプロデュースに携わった MOTTAINAIBATON の目取眞（めとるま）さんと会食してきました！

昨年に続き２回目の引率となりましたが、社会に出て自立していく子どもたちにとって、自分の故郷の価値を再発見し、未来の選択肢を広げるこのようなキャリア教育の機会がある椿原町は、本当に恵まれた素晴らしい環境だと実感しています。

この体験が、町内に残るきっかけはもちろん、町外へ出たあとも椿原の森と心を繋ぎ続ける大きな糧となることを信じています。次年度も、ぜひ多くの高校生に奮って参加していただき、自分だけの未来と森林の可能性を語り合ってほしいと思います。

１年目の経験を昇華し自立に向けて

椿原町地域おこし協力隊（林業ミッション）の原田です。令和８年７月をもって協力隊２年目を迎えることができました。

１年目は、やりたかった林産や特殊伐採、木工など準備の年として多方面に活動できた１年になったと感じております。

私は上成に住んでいるのですが、地域の行事や近所の繋がりから安井建築や森林組合の現場へ入らせていただくことができ、作業を通して皆伐現場の施業方法を学ぶことができました。集材のし易さを意識した伐採やスイングヤーダを使用した集材の設置・撤収、グラップルでの材の積み下ろしやフォワーダでの小出しなど、作業だけでなく全体の工程を意識し次に何をしていくかが掴め始めました。

また、特殊伐採の経験により広葉樹の知識やその倒し方を知り、人より重い木の塊をどのように制御し安全に切り下ろしていくかを学びました。

切った木材はコストや作業性の観点から廃棄されるものもあり、そちらを利活用して猫の彫刻やイス、棚などの家具作りを行なってきました。一人で製作しているため完成品がまだ少ないですが、今では製作に使用できそうな株や広葉樹など「持ち帰らないか」と勧めていただけるようになりました。

彫刻の荒削りや製材にチェンソーを使用しているため使い慣れてはきたものの、伐採時に切れにくくなるなど目立てに苦しめられた年でもありました。

２年目は、これまで経験できた林業や木工に加え、学生時代から行なってきた革細工を入れた４つの軸で精度を高め、自立に向けた活動を行なっていこうと考えております。

山での現場活動を続けたことで自身のレベルの低さや弱い点も見えてきたため、一人の戦力となるスキルと持続できる体の使い方に重点を置いて進めて参ります。

また、林業は天候に影響され雨で作業できなくなる中、木工や革細工を行い常に活動が行える環境ができたため、作品を作るだけでなく販売に向けてブランディングの学習やイベント出店を行い、今後生業として成り立つかを実行する年にしていきます。

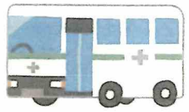
協力隊の任期は最長３年あるものの、林業の一人前としてはあまりにも早熟な中で自立を求められるため焦りを感じる時もありますが、それすらも楽しんでいきます。

今回の **REPORTER**-リポーター-

ゆすはら地域おこし協力隊
原田 翼考 -Harata Shigenori -

新潟県佐渡島出身。特殊伐採に、彫刻、革細工、狩猟など椿原でやりたいことが盛りだくさん。

献血のお知らせ



血液は人の体の中でしか造られず、人工的に作ることができません。皆様からいただいた血液は、がんや白血病、再生不良性貧血などの治療のために、日々、輸血が欠かせない人の命を支えています。

【月　日】　令和８年１１月１３日（金）

※天候不良等により、中止や変更となる場合があります。

４００mL 献血のみを行います。

【場所・受付時間】

◎椿原町役場前　　10時00分 ～ 12時00分
　　13時15分 ～ 15時30分

【年　齢】男性・・・17歳から６９歳まで
　　女性・・・18歳から６９歳まで

※65 歳以上 69 歳までの方が献血をされる場合は、60 歳から 64 歳までの間に献血を経験されたことのある方に限られます。

【主　催】椿原町・椿原町献血推進会

採血基準と献血の間隔

採血基準	種　　類	全血 400mL 献血（成分献血は実施しません）
	１回献血量	400mL
	年　　齢	男性１７歳～６９歳、女性１８歳～６９歳
	体　　重	男女とも 50 ㎏以上
	年間総献血量	男性 1,200mL 以内・女性 800mL 以内
	献血の時間	約 15～20 分
献血の間隔	【400mL 献血】 男性は 12 週間後・女性は 16 週間後の同じ曜日から献血できます。	

ご協力をおねがいします！

問い合わせ先　椿原町役場保健福祉課健康増進係　℡65-1170（太田）

体力・運動能力調査
参加者大募集！

令和8年11月2日（月）

18：00～（1時間程度）

（受付　17：30～18：00）

場　　所：椿原体育館（旧椿原小学校体育館）
対　　象：椿原町在住の20～64歳の男女
申　　込：電話にてお申込みください
（当日参加も可能ですが、なるべく事前申込をお願いします）
持 ち 物：室内履き・水分（動きやすい服装でご参加ください）
実施種目：①握力測定　②上体起こし　③長座体前屈
④反復横跳び　⑤20mシャトルラン　⑥立ち幅跳び

※保険は椿原町で加入します。
※実施前に、今の健康状態について用紙に記入していただきますので、身長と体重を計測してお越しください。

参加申込・問い合わせ　椿原町教育委員会事務局　生涯学習係
電話 0889-65-1350　町内IP電話 ＊＊65-1350

【主催】文化庁・厚生労働省・高知県・よさこい高知文化祭２０２６高知県実行委員会・椿原町芸術祭実行委員会

育んだ愛をこれからも、
ありがとう60周年。

古典から創作へ

次代の伝統芸能を切り拓く！

囃子方

もちづきひでゆき

望月秀幸演奏会

演目「三番叟」「鬼退治」「ゆすはら特別創作作品」

13:00開場

令和8年11月29日（日）13:30開演

会場：ゆすはら座　　入場無料

椿原の皆さま、はじめまして！日本の伝統芸能というと敷居が高く感じるかもしれませんが、そんなことはありません。どこか懐かしく親しみのあるお囃子の音色や軽快なリズムを、ぜひ気軽に楽しんでください。インターネットで調べても出てこない、「マル秘」な歌舞伎音楽の仕組みやルールもご紹介しながら、日本の伝統芸能の魅力を身近に感じていただけるよう、精一杯お届けします。

望月秀幸（もちづきひでゆき）
東京藝術大学大学院修士課程修了。平成中村座スペイン公演、中村勘九郎・中村七之助特別巡業公演、劇団前進座歌舞伎公演、国立劇場主催公演、NHK古典芸能鑑賞会、志の輔落語inPARCO、LUNA SEA 30th anniversary LIVEなどに出演。NHK Eテレ『にっぽんの芸能』『芸能きわみ堂』、テレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK大河ドラマ、映画『国宝』にも出演。NHK『民謡魂　ふるさとの唄』OP曲《夢が聞こえる》の録音に参加。長唄協会会員、タタスポポン代表理事。小鼓教室や小学校での歌舞伎囃子指導にも携わる。

【お問合せ】椿原町芸術祭実行委員会事務局（椿原町教育委員会事務局内）☎0889-65-1350

心踊る、文化咲く

第41回 国民文化祭　第26回 全国障害者芸術・文化祭

よさこい高知文化祭2026

令和8年10月25日(土)～12月6日(日)

雲の上の図書館 秋まつり

11月22日(日)
10:00~15:00

ステージ

第1部　13:00~
①オカリナ倶楽部
②絵本の小部屋
③フラダンスnaniゆすはら
④ししまる太鼓

第2部　14:00~15:00

茅葺き講演

講師:川上義範さん
写真家:濱原沙也佳さん
From Tokyo

作品展示

- YURURIゆすはら
- カンガルーのおなか
  絵本コーナーで開催される
  カンガルーのおなかの様子を展示
  (13:00~17:00)

販売

- うまいもん市

本の譲渡会

- 一箱古本市

ワークショップ

- しまんと新聞ばっぐ

【主催】雲の上の図書館、文化庁、厚生労働省、高知県、よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会

図書館 秋まつり 2026

一人一箱、本を持ち寄る譲渡会だヒョン

一箱古本市

開催日時	11月22日(日) 10:00~15:00
場所	図書館内

出店を希望される方はお電話または図書館カウンターまで
事前のお申し込みをお願いいたします。(申し込み期限：11月15日)

《参加される方へお願い》

・本の種類はなんでも構いません。漫画・雑誌等もOK
・一人一箱に収まる量でお願いします。
（大きさの指定はありませんが持ち運べる範囲の重さで）
・譲渡の冊数はご自身で決めていただいて構いません。
・本の管理はご自身でお願いいたします。
箱にずっとついていただく必要はありません。
・譲渡先の見つからなかった本はお持ち帰りください。
（撤収はいつでも可能です。撤収時は職員にお声がけください）
・譲渡会になりますので、金銭のやり取りはご遠慮ください。

お問い合わせはこちら
【0889-65-1900　雲の上の図書館】

二重の視界

濁水渓（台湾）と四万十川（椎原）

2026.10.10 — 12.10

椎原町 雲の上のギャラリー
椎原町 雲の上の図書館

許震唐

二つの川の物語

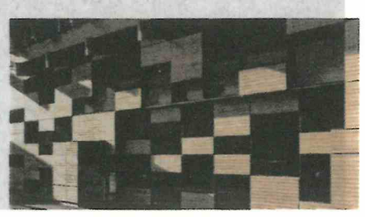
台湾で一番長い川「濁水渓」。標高3000メートル級の山々から始まり、村を抜け、187キロの旅をして海へと注ぐ、台湾の命の源です。しかし同時に、この川は現代の便利さと引き換えに「傷」を負った川でもあります。上流の山林開発や、河口に広がる巨大な化学工場——。そこには、私たち人間が自然をどう扱ってきたかという現実が映し出されています。

一方、海を越えたここ高知・椎原から始まる「四万十川」は、まったく違う姿をしていました。巨大なダムに無理やり遮られることもなく、清らかな水が当たり前のように村の中を流れています。自然の流れに逆らわず、川と共に生きてきた皆さんの暮らし。それは、長い歴史の中で守り継がれてきた、本当に尊く、奇跡のような「清らかな日常」です。

この写真展は、台湾の「傷を負った川」と、椎原の「清らかな川」を並べて見つめるものです。台湾から来た写真家の目を通して、「私たちはこれから、自然とどう寄り添って生きていくべきか」を皆様と一緒に考えたいと願っています。隈研吾さんの素晴らしい建築（空間）と、川の歴史を写した写真（時間）が重なり合うこの場所で、ゆっくりと想いを巡らせてみてください。 .

01 本展のきっかけ

台湾の写真家・許震唐氏が、ゆすはら雲の上観光協会の皆様に招かれて滞在撮影を行ったのが、この展覧会の始まりです。外から来た写真家のファインダー越しに見る椎原は、力強い命にあふれていました。皆様にとっての「いつもの見慣れた風景」が、実はどれほど美しく価値のあるものか、この写真展を通じて改めて感じていただければ嬉しいです。



02 皆さんの写真でつくる「椎原マップ」

この展覧会は、私たちの写真だけで完成するものではありません。椎原で暮らす皆様の目線で、日々の「清らかな日常」を私たちに教えていただけませんか。スマートフォンやカメラで撮った何気ない風景を、ぜひ共有してください。集まった写真は、これからも成長し続ける「椎原の記録」として、この会場に展示させていただきます。川と生きるこの町の美しさを、皆様と一緒に世界へ伝えていきたいのです。

QRコードから写真をアップロード

1. できれば圧縮していない元のファイルでお送りください。
2. お寄せいただいた写真は、本展での展示や、今後椎原を紹介する広報物に使わせていただきます。
3. 「ここを取材してほしい！」という貴重な情報がありましたら観光協会までご連絡ください。担当者が伺い、楽しくお話を伺いながら記録いたします。

03 お問い合わせ

ゆすはら雲の上観光協会
TEL 0889-65-1187

展示企画・運営チーム
合同会社 HiiForest
担当：劉（リュウ）
TEL 080-8475-2122
kenji@hiiforest.com

回覧

令和８年１０月２１日

各部落代表者　様

まごころお届け便実行委員会
実行委員長　上田　知子
【公　印　略】

「まごころお届け便」の実施及びボランティアの募集

秋色日毎に深まり、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

さて、毎年、満８０歳以上の高齢者で、在宅生活をされている方を対象に「まごころお届け便」の配達、配食事業を実施しています。

今年は、下記の日程で行います。声かけや地域のお年寄りとの交流の一環として粗品や手作り弁当等の配達、配食をしていただく「配達・配食ボランティア」を募集しております。

つきましては、お手数をおかけいたしますが、貴部落内でご周知いただき、参加ご希望者のとりまとめをお願いいたします。

裏面、配達、配食ボランティア参加者名簿を１１ 月１９日（木）までにおとりまとめいただき、本事業事務局（椿原町社会福祉協議会）までＦＡＸまたはご提出をお願いします。

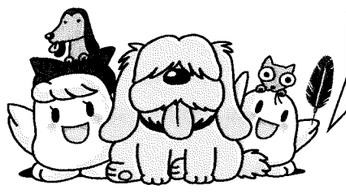
記

１）配達・配食日　　**令和８年１２月６日（日）**

２）配達・配食対象者　　令和８年３月３１日現在、満８０歳以上の方で
配達、配食当日、ご在宅の方

３）配達・配食ボランティアの集合場所・時間

地区名	集　合　場　所	集合時間
越知面区	地域交流センター	１２時４０分
四万川区	四万川交流センター	１２時４０分
東　　区	保健福祉支援センター 4F	１２時４０分
西　　区	高齢者合宿施設 にしのかわ	１２時４０分
初 瀬 区	高齢者合宿施設はつせ（西）	１２時４０分
松 原 区	松原ふれあいセンター	１２時４０分



「まごころお届け便」事業は、皆様から頂いた共同募金の配分金の一部を活用し実施しています。

―お問い合わせ―
椿原町社会福祉協議会
電　話：６５－１２３５
ＦＡＸ：６５－１２３７